

長野東高校演劇部 2010年ダイアリー

*2010年4月 1年生2名入部 2年生4名、3年生7名の計13名でスタート

1年生が2名入部しました。あと2~3名入部してくれるといいのですが.....。合計13名で2010年がスタートしました。

*2010年7月 東雲祭:『クラゲクライシス』上演

沖縄の首里高校演劇部脚本の「クラゲクライシス」という作品を上演しました。3年生は裏方に回るので、1・2年生だけのキャストです。

2人だけの文芸部員が文化祭公演をめざして、部員一人の演劇部と練習場の取り合い。しかし、実は文芸部はとっくに廃部になっていた.....というお話。

「ワサビ」という文芸部伝説の謎の詩集の解釈がけっこう難しかったです。



*2010年8月 北信大会:(千曲市あんずホール)
『クラゲクライシス』上演 銀賞受賞

文化祭で上演した「クラゲクライシス」を大幅に書き換えて上演しました。残念ながら県大会出場は逃しましたが、精一杯の舞台が創れたのではないかと考えています。脚本が最後までじっくりこなかったこともあり、講師の先生方からラストシーンの作り方を指摘されました。



*2011年2月 長野市民演劇祭(長野市女性会館しなのき)

『Witch only knows』『神に向かって中指を立てろ』上演

全員が舞台に立ちたいということで、30分ものを2本上演しました。「Witch only knows」は生徒による創作台本で、憧れの先輩に告白する勇気を持たない女子高生が、夢(おとぎ話の世界)で勇気をもって.....という話です。「神に向かって中指を立てろ」は、インターネットで探した脚本で、殺人犯と変わり者のシスターによるコメディタッチのお話です。

